

令和4年度 第6回春日区地域協議会 次 第

日時：令和4年9月20日(火) 午後6時30分から
会場：上越市市民プラザ 第2会議室
全体会 + 分科会 = 2時間

1 開 会

【2分】

2 あいさつ

【3分】

3 議 題

(1) 諮問事項 【10分】

- 新市建設計画の変更について

(2) 自主的審議事項

- ・ 春日山城跡の観光振興策について (観光分科会)
- ・ 安全・安心に暮らせる春日区とする方策について (安全・安心分科会)
- ・ あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とする方策について (福祉分科会)

1) 意見交換会について 【15分】

2) 各分科会における審議の状況について 【20分】

3) 分科会メンバーの変更について 【15分】

(3) その他

4 そ の 他

(1) 次回開催日の確認 【5分】

- 日時 令和4年 10月 日(火) 午後6時30分 から
- 会場 上越市市民プラザを予定
- 内容 (自主的審議事項) 各分科会における審議の状況について
※ 閉会后、分科会を開催

(2) その他

5 閉 会

(閉会后)

■ 本日の分科会 ■

- ・ 会場 ⇒ 観光 (第7)、安全・安心 (第2)、福祉 (第8)
- ・ 開催時間は約50分を目途とする。(審議終了は8時40分を目途とする。終了した分科会から随時解散)

上企第 29045-4 号
令和 4 年 8 月 9 日

春日区地域協議会
会長 太田 一巳 様

上越市長 中川 幹 太
(企画政策部企画政策課)



新市建設計画の変更について (諮問)

下記の事項について、上越市地域自治区の設置に関する条例第 7 条第 2 項の規定により意見を求めます。

記

諮問第 23 号 新市建設計画の変更について
※ 諮問内容については、別紙のとおり。

[諮問理由]

新市建設計画に登載した事業で、令和 5 年度以降に合併特例債の活用が見込まれるものがあることを受け、新市建設計画の変更を行うに当たり、「新市建設計画の変更案」を別紙のとおりとすることについて、春日区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、意見を求めるもの



新市建設計画の変更案

I 序論

「2 計画策定の方針」の「(3)計画の期間」

新旧対照表 該当ページ	変更案	変更前	変更理由
P3	この計画は、平成 17 年度から令和 11 年度までの 25 か年を計画期間とします。	この計画は、平成 17 年度から平成 34 年度までの 18 か年を計画期間とします。	○合併特例債発行可能期間に合わせ、計画期間を改める。

II 新市の概況

「3 人口・世帯」の「(2)人口の将来見通し」

新旧対照表 該当ページ	変更案	変更前	変更理由
P7	<p>今後も少子化の傾向は変わらず、人口の減少が続くものと予測されていることから、新しい上越市の人口は、令和 27 年には 14 万 3 千人と、平成 12 年より約 6 万 9 千人 (32.5%) 減少する可能性があります。</p> <p>年齢区分別に見ると、65 歳以上の老年人口は実数、割合ともに増加する見通しであり、平成 12 年では、高齢者は「5 人に 1 人以上」ですが、令和 27 年には「2.5 人に 1 人以上」の水準まで高まります。</p> <p>一方、児童・生徒などの年少人口や、地域の担い手となる生産年齢人口は減少していきます。特に生産年齢人口の減少は顕著であり、平成 12～令和 27 年の間に約 6 万 3 千人減少する見通しです。これは、平成 12 年時点で地域にいた働き手のうち、「2 人に 1 人」がいなくなることに等しく、この地域の活力を維持していく上で必要な「人」が更に不足することになります。</p>	<p>今後も少子化の傾向は変わらず、人口の減少が続くものと予測されていることから、新しい上越市の人口は、平成 52 年には 15 万 6 千人と、平成 12 年より約 5 万 6 千人 (26.4%) 減少する可能性があります。</p> <p>年齢区分別に見ると、65 歳以上の老年人口は実数、割合ともに増加する見通しであり、平成 12 年では、高齢者は「5 人に 1 人以上」ですが、平成 52 年には「3 人に 1 人以上」の水準まで高まります。</p> <p>一方、児童・生徒などの年少人口や、地域の担い手となる生産年齢人口は減少していきます。特に生産年齢人口の減少は顕著であり、平成 12～52 年の間に約 5 万 3 千人減少する見通しです。これは、平成 12 年時点で地域にいた働き手のうち、「3 人に 1 人以上」がいなくなることに等しく、この地域の活力を維持していく上で必要な「人」が更に不足することになります。</p>	○総人口及び年齢別人口の将来推計値について、平成 27 年の人口見直し時から数値の変動があるため、人口見通しを最新の数値に改める。

○統計データ等を、最新のデータに修正する。

新旧対照表 該当ページ	変更案	変更前
P7	<p style="text-align: center;">【図表 2-5 総人口および年齢別人口の推移】</p> <p style="text-align: center;">※平成 27 年、令和 2 年の数値は不詳補完値 出所：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所</p>	<p style="text-align: center;">【図表 2-5 総人口および年齢別人口の推移】</p> <p style="text-align: center;">出所：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所</p>

Ⅲ 新市建設の基本方針

○計画改定後の社会状況の変化等により、現状と合わなくなっている文言等を修正する。

新旧対照表 該当ページ	変更案	変更前	変更理由
P14	<p>14 市町村の人口は現在 21 万人を超える規模に達していますが、昭和 60 年より続く減少傾向は今後も続くと見込まれ、このままでは 45 年後には現在の 68%程度にまで人口が減少する見通しです。このような中、老年人口（65 歳以上）は増加を続け、45 年後には「2.5 人に 1 人以上」の割合まで高まります。この一方で、年少人口（0～14 歳）、生産年齢人口（15～64 歳）は共に減少する見通しであり、地域社会の高齢化は急速に進展することが予想されます。</p> <p>特に、地域力を維持する上で必要不可欠な活力源である「働き手」世代である生産年齢人口が大きく減少する問題（平成 12～令和 27 年の間に約 6 万 3 千人減少）は深刻です。</p>	<p>14 市町村の人口は現在 21 万人を超える規模に達していますが、昭和 60 年より続く減少傾向は今後も続くと見込まれ、このままでは 40 年後には現在の 74%程度にまで人口が減少する見通しです。このような中、老年人口（65 歳以上）は増加を続け、40 年後には「3 人に 1 人以上」の割合まで高まります。この一方で、年少人口（0～14 歳）、生産年齢人口（15～64 歳）は共に減少する見通しであり、地域社会の高齢化は急速に進展することが予想されます。</p> <p>特に、地域力を維持する上で必要不可欠な活力源である「働き手」世代である生産年齢人口が大きく減少する問題（平成 12～ 52 年の間に約 5 万 3 千人減少）は深刻です。</p>	<p>○更新した人口見通しと整合を図るため、文章を改める。</p>

Ⅳ 新市の施策

○変更なし

Ⅴ 新市における県事業の推進

○変更なし

Ⅵ 公共施設の適正配置と整備

○変更なし

Ⅶ 行財政運営

○変更なし

VIII 財政計画

○計画期間の延長にあわせて収支の均衡が図られた平成 17 年度から令和 12 年度までの財政計画に変更する。

※第 3 次財政計画は地域協議会への諮問事項ではないが、現在策定中であり、変更後の案を示すことができないことから、策定後に掲載する。

(検討資料) 春日地区町内会長との情報交換会
次 第

日時：令和4年 月 日()午後6時から

会場：上越市市民プラザ 第 会議室

延べ1時間10分

1 開 会

(1) あいさつ

- ・ 春日区地域協議会長 太田 一巳 【 2分】

(2) 出席者紹介 (事務局) 【 5分】

- [事務局] 出席者の職と氏名を紹介する。(委員 → 町内会 → 事務局の順)

2 議 題

(進行：太田会長)

(1) 説明

- ① 本日の情報交換会について 【 5分】

- [事務局] 地域協議会、自主的審議、本日の趣旨について説明。
- [町内会長] 質疑 (主に事務局が応答)

(2) 情報交換

- ① 分科会の取組について 【4分×3=12分】

- [リーダー] 「定めたテーマ」「経過や今後の見通し」「町内会に
お願いしたいこと」等について、資料を用いて説明。

- ② 意見聴取 【44分】

- [町内会長] 質疑 (事務局または分科会が応答)
- [全 員] 情報交換

- * 内容・所要時間

・ 全町内会長から一言	19人×1分=19分
・ 特に意見のある方	5人×3分=15分
・ 意見のある方への応対	5人×2分=10分

- * 質疑は情報交換と一体的に行うことも想定。

3 閉 会

(1) まとめ

- ・ 中部まちづくりセンター長 【 1分】

(2) あいさつ

- ・ 春日区地域協議会副会長 ○○ ○○ 【 1分】

意見交換会でのリーダー説明用【未定稿】

春日区地域協議会 自主的審議の取組について

分科会名称	観光分科会	安全・安心分科会	福祉分科会
審議テーマ	春日山城跡の観光振興策について	安全・安心に暮らせる春日区とする方策について	あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とする方策について
これまでの審議経過	<ul style="list-style-type: none"> 市（文化行政課・観光交流推進課）からの情報収集 春日山城跡等現地視察 	<ul style="list-style-type: none"> 上越市防災士会長からの情報収集 アンケート調査（防災士資格者、災害対応資器材） 	<ul style="list-style-type: none"> 町内会活動に関する実態調査 活動団体からの情報収集 具体的な取組内容の検討（いきいきコンサート、ニュースポーツ等健康増進活動）
今後の審議内容・見通し	<ul style="list-style-type: none"> 活動団体との意見交換 先進地視察 春日山城跡の観光振興に関する提言書（意見書）の作成・提出 	<ul style="list-style-type: none"> 防災士資格保有者との意見交換 「上越市防災士会春日支部」の設置 市担当課からの情報収集 防災士会と連携した訓練メニューの企画・例示 	<ul style="list-style-type: none"> 活動団体との意見交換 活動団体への提案
町内会にお願いしたいこと等 ※グループ審議の話題			